

# 名古屋を変える！ 経験交流と本音トーク

— 環境活動の交流ワークショップ —

## 発表団体を募集中です！

- なごや環境大学では、2005年以來、市民団体・企業・大学・行政などの企画による共育講座の展開を呼びかけてきました。いま、こうした「仲間のつながり」を、市民の「行動」にどう結びつけたらよいか？ 模索しています。
- 去年は… 「外来種の防除」、「消費者と事業者の協働」という二つのテーマで、ワークショップを開催しました。（→ なごや環境大学 WEB サイト <http://www.n-kd> の「ダウンロード」ページ）
- 今年… もう一回り輪を広げ、「ライフスタイル」、「ESD」、「いきもの調査」、「企業の環境活動」をテーマに、**経験交流と本音トーク**を企画しています。

### 発表団体を募集中！

日頃の活動の経験／成果、悩み／とまどい、呼びかけ／問題提起 …  
事例報告や 話題提供を お願いしたいのです。

3分科会（ライフスタイル / ESD / いきもの調査 / 企業の環境活動）で  
各4団体程度の発表団体を募集します。（→ 詳細は裏面をご覧ください）

- ・ 募集期間 2013年 3月5日～31日
- ・ 申込先 なごや環境大学実行委員会事務局  
Email [jimu@n-kd.jp](mailto:jimu@n-kd.jp) TEL/FAX 052-223-1223

### ◆ ワークショップの概要

2013年 6月29日（土） 午後1：30～4：30

会場 名古屋文化短大（名古屋市東区葵1-17-8、地下鉄東山線・新栄駅スグ）

主催 なごや環境大学実行委員会

分科会 ライフスタイル / ESD / いきもの調査 / 企業の環境活動

進め方 プレゼンタイム（分科会ごとに、@15分 × 4団体程度）

交流タイム（分科会ごとに、90～120分）… 参加者全員でざっくばらんに交流

本番までのスケジュール

3月 「発表団体」の募集

4月 発表団体の確定（→ 発表団体と相談しながら、当日プログラムを詰めます）

5月～ 「一般参加者」の募集

事前打合せ（発表団体相互の問題意識の共有、発表内容の調整などを行います）

6月29日 本番開催

## 分科会の概要（募集内容）

	① ライフスタイル 分科会	② ESD 分科会
<b>募集の対象</b>	「ごみ問題、3R、くらし、買い物行動、CO <sub>2</sub> 」などに取り組んでいる団体・企業・行政の方々。	小中学生を対象にした教育プログラムを実施し、他団体と「協働カリキュラム」を作成したいと考えている団体・企業・行政。
<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この10年、名古屋のごみの減少が続いています。減っているからごみ問題は解決したのか？ ごみだけではなく、資源分別量も減っている等、その実態は？</li> <li>● このタイミングで、名古屋市第5次一般廃棄物処理基本計画が検討されようとしています。</li> <li>● いま何が課題か？ 何が必要か？ 活動はいままでのアプローチで良いのか？ ・・・ 本音の議論と問題意識の共有をめざします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学校、地域で実践できる ESD カリキュラムづくりのための意見交換をします。</li> <li>● 対象…小中学生を対象に、地球や人々の未来、命の大切さを伝えたい！という志を持ち、他団体とコラボレーションして ESD カリキュラムを企画したいという団体・企業・行政。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①提供できる教育プログラムの紹介と共有</li> <li>②コラボレーションするとどのようなプログラムをつくることができるか？</li> <li>③小中学校に提供するために必要なこと</li> <li>④地域で実践するために必要なこと</li> <li>⑤来年度のなごや環境大学主催講座での実施の可能性の検討</li> </ul> </li> </ul>
<b>企画者からのメッセージ</b>	<p>社会の変化とともに、ごみの課題は変化して来るはず。さらに大きく変化するであろう社会、生産・流通・消費・処理の現場は、今どう変わっているのか？</p> <p>それぞれの現場の方々にも声をかけようと思います。各団体の取り組みから変化を体感？できる場になればと思っています。</p> <p style="text-align: right;">萩原喜之（なごや環境大学実行委員）</p>	<p>2014年のESDユネスコ世界会議の開催は、環境教育、国際理解教育、市民教育、開発教育等が、より市民権を得るためのチャンス！です。</p> <p>持続可能な未来をつくるための学びあいを、多くの人と展開するために、なごや環境大学だからこそできる「ESD カリキュラム」を、一緒につくりませんか？</p> <p style="text-align: right;">なごや環境大学実行委員会 ESD チーム</p>
	③ いきもの調査 分科会	④ 企業の環境活動 分科会
<b>募集の対象</b>	名古屋市内で「いきもの調査」に取り組んでいる団体。 （里山・水辺・市街地などで、動物や植物に関する調査をしている団体）	「広い意味での環境活動」に取り組んでいる企業、あるいは取り組みを模索している企業のご担当者。 （規模の大小、活動内容を問いません！）
<b>ねらい</b>	<p>いきもの調査の経験交流を通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 調査結果の市民的な共有、</li> <li>② 市民に取り組み可能な行動の呼びかけ等について意見交換。</li> </ul> <p>→ 取組の輪を広げる糸口を探ります。</p>	<p>発表企業の取り組み紹介を参加者が共有した上で、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自社の取り組みや課題との共通点・相違点の洗い出し</li> <li>② 参加企業間の協働の可能性を探るマッチングタイム</li> </ul> <p>→ 次につながる成果・課題の合意形成</p>
<b>企画者からのメッセージ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知る人ぞ知る…埋もれている宝（調査結果）って、多いですね？</li> <li>● どうすればフツーの人に理解してもらえるか？ そんな悩みもあると思います。</li> </ul> <p>調査結果を交流しあい、「宝と悩みを発掘・共有」しませんか？</p> <p style="text-align: right;">加藤正嗣（なごや環境大学実行委員）</p>	<p><b>業種を超えて、本音で語り合しましょう！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わが社の取り組みを聞いてほしい</li> <li>・こんな苦労をしている</li> <li>・志を同じくする企業を見つけたい</li> <li>・活動フィールドを探している</li> <li>・助言者・ステークホルダーを募集中 等々</li> </ul> <p style="text-align: right;">山田厚志（なごや環境大学実行委員）</p>